

小児病院における泌尿器科研修医募集要項記入フォーム

2012年 11月 15日

当病院において、下記の通り泌尿器科研修医を募集いたします。

病 院 名： 福岡市立こども病院・感染症センター

〒 810 - 0063 TEL (092 - 713 - 3111)

所 在 地： 福岡市中央区唐人町2-5-1

担 当 者： 山口 孝則 TEL 092-713-3452

E-mail： yamaguchi.t@fcho.jp

病院 Web サイト：有 URL：www.fcho.jp/childhp/

代表指導医氏名 山口孝則 卒業年度 1982年 3月 着任年度 1998年 4月

診療内容の特長と代表指導医からのメッセージ：

小児泌尿器科全般にわたった診療を行っています。特に尿路性器先天奇形に対する形成術は年間 350～400 例を数え、九州のみならず西日本各地から患者が紹介されて来ます。

また、当科は小児泌尿器科認定医が3名常勤し、小児泌尿器科研修においては十分な指導体制と環境を整えています。

泌尿器科の勤務医師数およびそれぞれの着任年度：科長（平成10年～）、医長（平成11年～）、医長（平成16年～）の3名は常勤医で泌尿器科学会指導医・専門医、小児泌尿器科学会認定医を取得。レジデント1名を含め常勤医師数計4名。

泌尿器科スタッフ数：4名 年間手術数：350～400件

主な手術名と件数：尿道下裂形成術（約80件）、停留精巣固定術（約80件）、内視鏡下手術（約50件）、膀胱尿管新吻合術（約40件）、腎盂形成術（約20件）など

研修開始時期：原則として4月新年度 研修期間：1～2年

研修内容の概略：小児泌尿器科診療の全般を指導。特に尿路性器先天奇形の形成術については指導医のもとで当初よりほぼすべての手術に介入し、早期より執刀医としての技術を学ぶ。

募集する医師の条件：小児泌尿器科診療に興味があり、手術習得をめざす若手医師

研修期間中の待遇、身分：卒業年度によるが原則的にレジデント待遇、月給制

住 居：宿舎はない

その他（特に力を注いでいる分野・臨床研究など）：

性分化疾患における形成術、尿道下裂形成術など難易度の高い尿路性器形成術の成績向上